

Tower Brace Set

No. MFD480

取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ タワーブレースセット をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輻に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意 ※当製品の装着にあたっては、以下の注意事項を厳守してください

1. 本書に記載する説明に従って装着を行うこと。本書に記載する以外で、当製品の取付上やむをえない場合を除く製品の加工・改造・分解および、車輻の改造は絶対行わないこと。
2. 当製品の通常の取り付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験がされている方、又は当該経験者の監督下で作業が可能なる方を原則とします。
3. 純正部品の取外・取付作業は、マツダ(株)発行の整備解説書を参照して作業を行うこと。
4. 当製品の装着は、下記に記す適合車種欄に記載する車両にのみ行うこと。
5. 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体へ改造が施されていたり、純正でない部品が取り付けられていた場合、または日常点検を怠ったために発生した事故等については、一切の責任を負いません。

構成部品

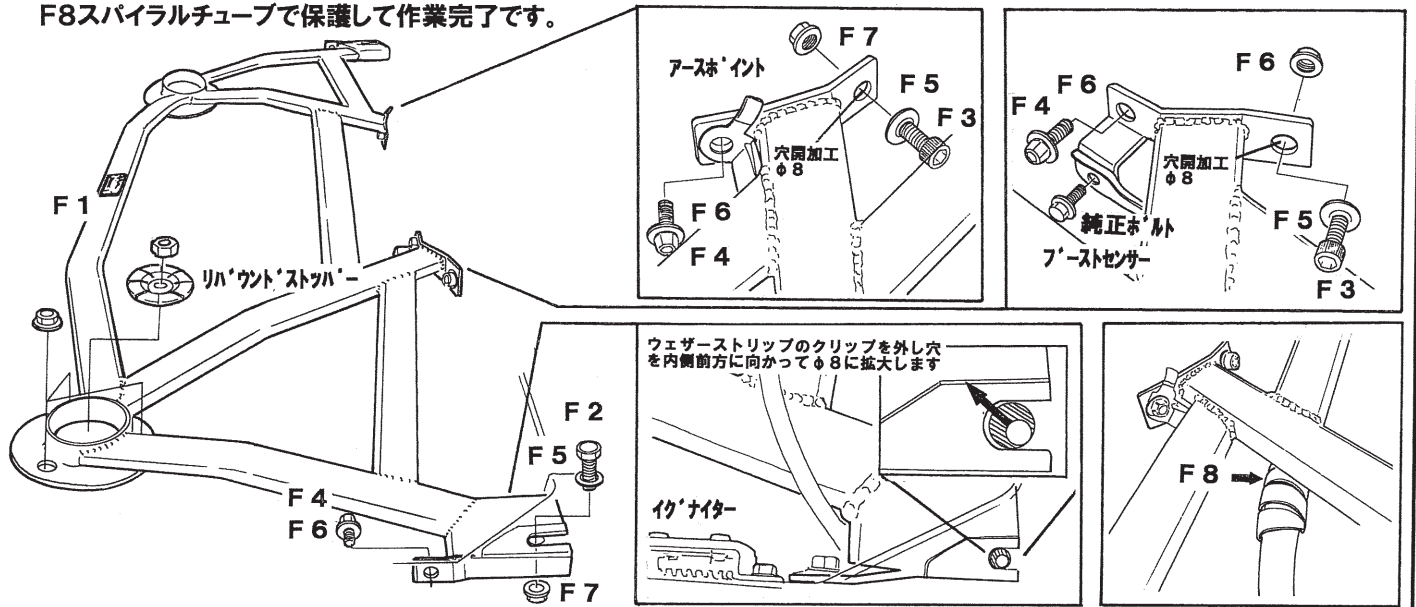
部品番号 : MFD480

適合車種 : RX-7 FD3S-100001~

No.	品名	仕様	数	No.	品名	仕様	数
F1	フロントタワーブレース	スチール製レッド塗装	1	R1	リアタワーブラケット(右)	スチール製レッド塗装	1
F2	六角ボルト	M8×25ユニクロメッキ	2	R2	リアタワーブラケット(左)	スチール製レッド塗装	1
F3	ヘックスボルト	M8×25ユニクロメッキ	2	R3	リアブリッジバー	スチール製レッド塗装	1
F4	セムスボルト	M6×20ユニクロメッキ	4	R4	ヘックスボルト	M10×65ユニクロメッキ	4
F5	ブレーンワッシャー(大)	M8対応ユニクロメッキ	4	R5	ヘックスボルト	M8×25ユニクロメッキ	4
F6	ブレーンワッシャー(小)	M6対応ユニクロメッキ	4	R6	ブレーンワッシャー	M10対応ユニクロメッキ	8
F7	フランジナット	M8ユニクロメッキ	4	R7	ブレーンワッシャー	M8対応ユニクロメッキ	4
F8	スパイラルチューブ	マスターバック保護用	1	R8	スプリングワッシャー(大)	M10対応ユニクロメッキ	4
				R9	スプリングワッシャー(小)	M8対応ユニクロメッキ	4
				R10	袋ナット	M10	4

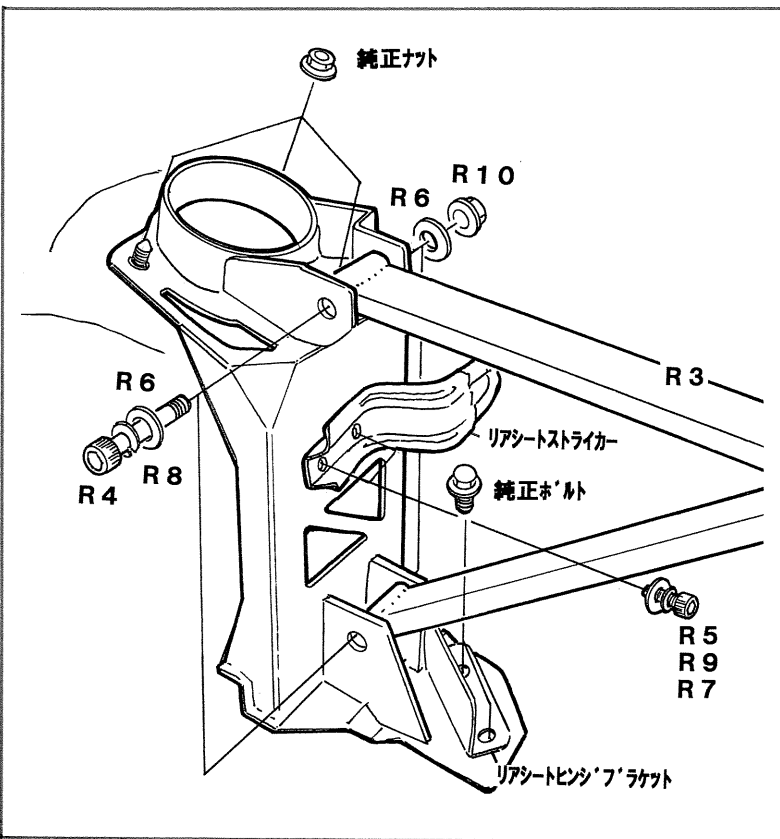
■フロントセクション

1. ワイパーアーム、カウルパネル、左右のフロントサスタワーのナット(片側3箇所)とリバウンドストッパーを取り外します。
2. 助手席側のバルクヘッド隅に位置するイグナイターの取付ボルトを取り外し、フリーにしておきます。
3. バルクヘッドに装着されているウェザーストリップ左右のクリップを取り外し、クリップが差し込んであった穴を内側前方に向かってφ8に拡大します。※加工後はタッチアップペイント等を使用して、防錆処理を施してください。
4. フロントをジャッキアップしてサスタワーのスタッドを下に押し込んだ状態でF1フロントタワーブレースを車両にのせます。※スタッドボルトを押し込まないとスタッドボルトが邪魔してタワーブレースを乗せることができません。
5. 2. で取り外したフロントサスタワーのナットでフロントタワーブレースを固定し、バルクヘッドの新規穴開加工ポイントにマーキングをします。一旦、フロントタワーブレースを取り外し、マーキング位置にφ8の穴開加工を施します。※加工後はタッチアップペイント等を使用して、防錆処理を施してください。
6. 下図を参考に再度、F1フロントタワーブレースを車両にのせて、指定ボルトや純正ボルト類を使用して固定します。
7. ジャッキダウンして、1. ~2. で取り外した純正部品を元の状態に戻します。最後にブレーキマスターバックのバキュームホースをF8スパイラルチューブで保護して作業完了です。

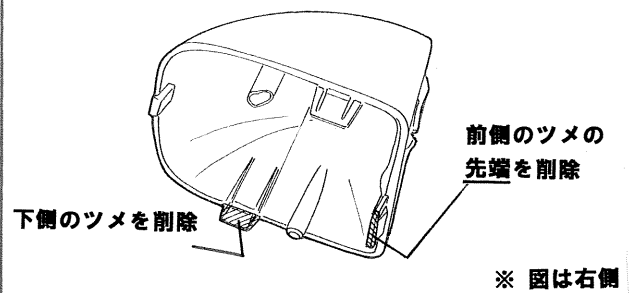


■リアセクション

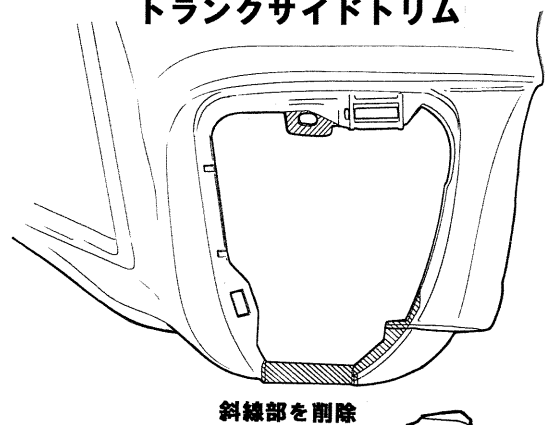
1. リアシート、クォータートリム(左右)、トランクエンドトリム、トランクルームホールキャップ(左右)、トランクサイドトリム(左右)、を取り外します。
2. R1リアタワーブラケット(右)、R2リアタワーブラケット(左)を図を参考に指定ボルトや純正ボルト類を使用して固定します。
3. トランクサイドトリム(左右)の斜線部を図示の寸法を参考に切り抜き、車両に装着します。
4. リアシートストライカーを付属ボルトを使用して固定します。
※リアシートストライカーを装着する面はリアシートの可倒機能を成立させる為、リアタワーブラケットの面に意図的にワッシャーを溶接し、段差を設けてあります。装着に際してはボルトを締め込みストライカーをなじませて下さい。
5. ストライカーカバー(左右)の斜線部を図示を参考に削り落とし、装着します。
6. クォータートリム(左右)、リアシート、トランクエンドトリムを元に戻します。
7. 付属ボルトを使用してリアブリッジバーを固定します。
8. トランクルームホールキャップ(左右)の指定箇所にφ18のホルソーを使用して穴開加工をして、ヘックスボルトや袋ナットの頭を逃がしてください。穴開加工の位置に関しましては、組付誤差等がありますので、現品のヘックスボルトや袋ナットの頭の位置に合わせてください。
9. 加工したトランクルームホールキャップ(左右)を装着し作業完了です。



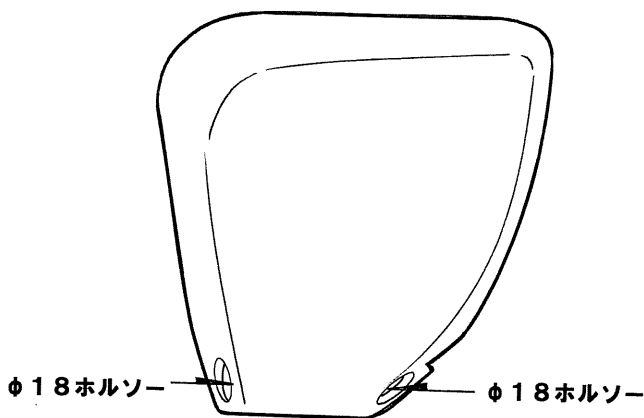
ストライカーカバー



トランクサイドトリム



トランクルームホールキャップ



※ 図は左側

